

別記第 22 号様式 輸送記録簿

輸 送 記 録 簿

浜 中 町

郵送 月日	目的	輸送 区間 (距離)	借 上 等		修 繕				燃料費	実支出額	備考	
			資料車両		故障車両等		修繕 月日	修繕費				故障 の 概要
			種 類	台 数	金 額	名称 番号						
					円				円	円		
計												

- 注 1 「目的」欄は主たる目的（又は救助の種類名）を記入すること。
 2 町の車両等による場合は、「備考」欄に車両番号を記入すること。
 3 借上車両等による場合は、有償、無償を問わず記入すること。
 4 借上等の「金額」欄には、運送費又は車両等の借上費を記入すること。
 5 故障の概要」欄には、故障の原因及び故障箇所を記入すること。
 6 本様式は、救助法の適用時にはその事務のために用いること。

別記第 23 号様式 飲料水の供給簿

飲 料 水 の 供 給 簿

浜 中 町

供 給 月 日	対 象 人 員	給水用機械器具							実支出額	備考	
		名 称	借 上			修 繕					燃料費
			数 量	所 有 者	金 額	修繕 月日	修繕費	修繕の 概 要			
	人			円		円		円	円		
計											

注 1 給水用機械器具は、借上費の有償、無償を問わず作成するものとし、有償による場合のみ「金額」欄に額を記入すること。

別記第 25 号様式 世帯構成員別被害状況

世帯構成員別被害状況

年 月 日 時現在

浜 中 町

被害別	世帯構成員別												計	小学校	中学校	
	1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人世帯	6人世帯	7人世帯	8人世帯	9人世帯	10人世帯						
全壊 (焼)																
流失																
半壊 (焼)																
床上 (下) 浸水																

別記第 26 号様式 物資購入 (配分) 計画表

物資購入 (配分) 計画表

年 月 日 時現在

浜 中 町

世帯	人世帯												計				備考	
	円				円				円									
	品名	単価	数量	所要数	金額	数量	所要数	金額	数量	所要数	金額	数量	所要数	金額				

- 注) 1. 本表は、全壊 (焼)、流世帯分と半壊 (焼)、床上 (下) 浸水世帯分に分けて作成すること。
 2. 「品目」欄は、寝具、被服、生活必需品の順に記入すること。
 3. 各品目の「備考」欄に、道 (都府県) 調達分と町 (市村) 調達分を明らかにしておくこと。

別記第 27 号様式 物資の給与状況

物資の給与状況

年 月 日 時現在

浜 中 町

住家被害 程度区分	世帯主 氏 名	基礎となった	給与月日	物資給与の品目				実支 出額	備考
		世帯構成員 (人)		(月 日)	布団	毛布			
計	全壊	世帯							
	半壊	世帯							

災害救助物資として上記のとおり給与したことに相違なし

年 月 日

給与責任者 氏名

⑧

- 注) 1. 住家の被害程度に、全壊(焼)、流失又は半壊(壊)、床上(下)浸水別を記入すること。
 2. 受領年月日に、その世帯に対して最後に給与された物資の受領年月費を記入すること。
 3. 「物資給与の品目」欄に、数量を記入すること。

別記第 28 号様式 物資の給与及び受領簿

住家被害 程度区分	1 全壊(焼) 3 半壊(焼)	2 流失 4 床上(下)浸水	給与(貸与)の基礎と なった世帯構成員数	人	男 女	人 人
--------------	--------------------	-------------------	-------------------------	---	--------	--------

災害救助用物資として下記内訳のとおり受領しました。

年 月 日

住所 _____

世帯主 氏名 _____ 印

連絡先(避難所・電話番号等) _____

給付(貸与)年月日	品名	数量	備考

別記第 29 号様式 応急仮設住宅台帳

応 急 仮 設 住 宅 台 帳

浜 中 町

世帯主 氏名	家族数	所在地	構造 区分	面 積	敷地 区分	着 工 日 月	竣 工 日 月	入 居 日 月	実支出額	備 考
	人								円	
世帯										

注 1 「応急仮設住宅番号」欄は、応急仮設住宅に付した番号とし、設置箇所を明らかにした簡単な図面を作成し添付すること。

2 「家族数」欄は、入居時における世帯数を含めての人員数を記入すること。

3 「所在地」欄は、応急仮設住宅を建設したところの住所を記入すること。

4 「構造区分」欄は、木造住宅、プレハブ住宅の別を記入すること。

5 「敷地区分」欄は、公・私有別とし、有・無償の別を明らかにすること。

6 本様式は、救助法の適用時にはその事務のために用いること。

別記第 30 号様式 住宅応急修理記録簿

住 宅 応 急 修 理 記 録 簿

浜 中 町

世帯主氏名	修 理 箇 所 概 要	完 了 月 日	実 支 出 額	摘 要
			円	
計	世帯			

注 本様式は、救助法の適用時にはその事務のために用いること。

別記第 31 号様式 障害物除去の状況

障 害 物 除 去 の 状 況

浜 中 町

住家被害 程度区分	氏 名	除 去 に 要 し た 期 間	実支出額	除 去 に 要 す べ き 状 態 の 概 要	備 考
計	半壊 半焼	世帯			
	床上 浸水	世帯			

注 1 住家等の障害物を除去した場合に作成するものとし、「住家被害程度区分」欄には、半壊(焼)、床上浸水の区分を記入すること。

2 本様式は、救助法の適用時にはその事務のために用いること。